



# 明倫

舞鶴市立明倫小学校

令和2年2月28日

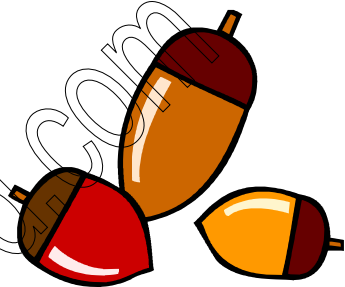


## たくわえを力に

今年の冬は暖かく寒さを堪え忍ぶという日は少なかったのですが、冬は植物にとって力を蓄えている時期でもあります。

学校の中庭にある木々の冬芽を写真に撮り「冬芽をさがそう。」というクイズを出しました。子どもたちは一生懸命冬芽を探してクイズを楽しんでいました。植物は冬の間は新芽を寒さから守っていますが、春になって気温が上がってくると蓄えた力を使って花を咲かせ、葉や枝を伸ばしていきます。

環境省・文部科学省推奨の事業として「どんぐり苗一本国民運動」があり、明倫小学校が参加することになりました。子どもたちに環境問題に興味を持ってもらおうという取組です。中庭にどんぐりの木を植え、成長する様子を観察します。どんぐりの実は1、2年生の生活科でも使いますし3年生以上の理科や環境学習にも役立ちます。残念ながら植樹の記念式典はできなくなりましたが、どんぐりの生長をみんなで見守りたいです。来年からは、このどんぐりもきつと冬芽を準備し力を蓄えてくれることでしょう。



子どもたちも蓄えた力を発揮するのを待っているはずですが、子どもなので冬に力を蓄えるとは限りませんが、必ず力を蓄えていると思います。身体を動かすことを得意とする子ども、自然のものを観察することを得意とする子ども、得意なことは多岐にわたると思います。その力を発揮する時にはあたたかく見守りたいです。

校長 池田 弘一

## 雪の降る地域で育った子どもは忍耐強い

忍耐強さについて調べている学者が、ある特徴に気付いたそうです。雪の降る地域で育った人は忍耐強いのではないかとということです。詳しく調べてみると幼少期の体験に関係があるのではないかとということです。雪の降る地域で育つと雪の降る中、毎日学校へ通わなければなりません。時には吹雪の日に学校へ行くこともあるでしょう。もちろん帰るときも雪の降る中を帰らなければなりません。このように毎日厳しい条件の中を学校へ通い、知らず知らずのうちに忍耐力がはぐくまれているらしいということです。

大人は雪の中を通学する子どもを「かわいそう。」と思うのかもしれませんが、この体験が後に自分の大きな力になっていたのです。大人が手を差しのべることでこの貴重な体験の機会を奪っていたのかもしれませんが、今年は雪が少なくこの機会は少なかったかもしれませんが、貴重な体験の場は大切にしたいですね。